

## グラフでみる きょうたんご

### 参考

ご覧いただく際のご参考にしてください。

●市の予算は、「年度」という期間を使っています。

平成16年度とは…平成16年4月1日～平成17年3月31日

平成17年度とは…平成17年4月1日～平成18年3月31日

●京丹後市の人口 6万5,129人

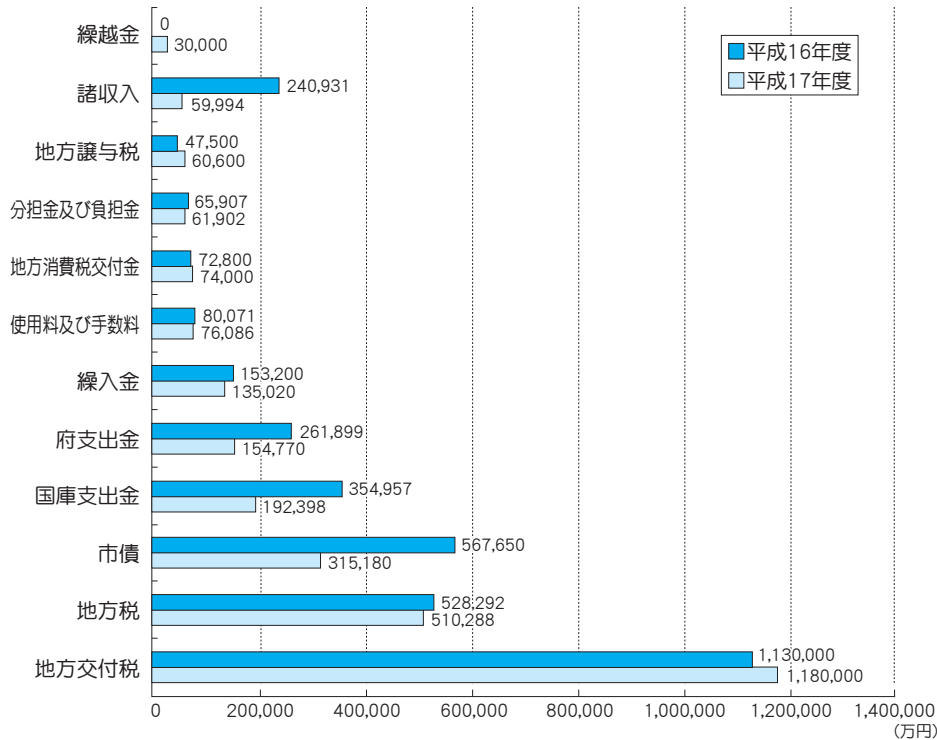
(平成17年3月31日現在の住民基本台帳による数値)

市の借金や貯金の1人あたりの金額を計算する基礎に使いました。

## 平成17年度の収入の内訳

市の収入で一番金額の多いものは、国から配分される地方交付税の118億円で、市税が51億288万円、次いで市債（借金のことで、地方債とも呼ばれます）が31億5,180万円の順となっています。

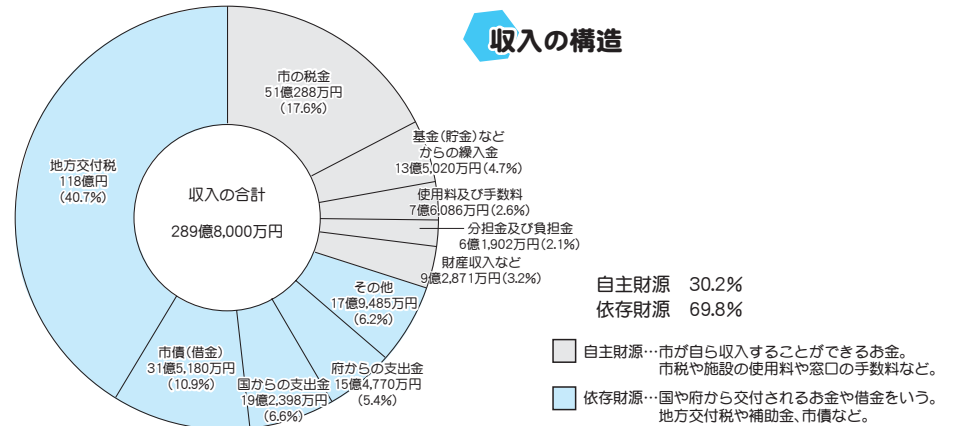
## 主な収入比較



財政基盤の安定や市民のニーズに応じた自主性のある行政サービスを提供するためには、一般的に自主財源の割合が高いほど望ましいと考えられています。

市の収入総額289億8,000万円に占める割合は、自主財源が87億6,167万円で30.2%、依存財源が202億1,833万円で69.8%となっています。国や府からもらえるお金や借金に頼った収入構造といえます。

## 収入の構造



## 平成17年度の支出の内訳

平成16年度と平成17年度の一般会計予算をその目的ごとにグラフにしました。平成17年度の予算でみると民生費(老人福祉、児童福祉など)が76億3,137万円と最も多く、次いで公債費(借金の返済金)の53億2,927万円、総務費(地域振興、交通安全など)の29億8,924万円、衛生費(環境保全、医療対策など)の29億5,759万円という順になっています。

平成16年度と比較すると、諸支出金が全額なくなっていますが、これは合併のときの旧町の赤字補てんをしたものなので平成17年度はありません。

また、衛生費が20億6,311万円と大幅に減っています。これは、し尿処理施設の整備(竹野川衛生センター)や久美浜最終処分場の改修費、網野最終処分場の解体費を計上していたためです。

## 支出比較 (目的別)

